

講義コード [ 3-1 ]		開講区分	2 学年 <b>前</b> ・ <b>後</b>
森林・林業政策		タイプ・総コマ数	学科 8 コマ
		講師	京都府庁職員、内部講師他
目的	卒業を前に、就職後に役立つ森林・林業関係の施策・制度、仕事に就いてからの自己管理、スキルアップの手法を学ぶ		
概要	1 国、府の森林・林業施策を学ぶ 2 業務に関連する法令・制度、自己管理の手法等を学び、円滑な業務遂行の一助とする 3 最近の森林・林業の動きを解説		
講義	テーマ	講義内容	
1	国における森林・林業政策	国の重点施策及び森林・林業基本政策	
2			
3	京都府の森林・林業施策	京都府の重点施策	
4	森林計画制度と保安林制度	卒業後に役立つ諸手続の知識① 普通林の伐採届と保安林の許認可・届出について、手続きの方法や書類作成の留意点を解説	
5	森林整備事業(造林補助事業)について	卒業後に役立つ諸手続の知識② 森林整備事業(造林補助制度)の概要と仕組みの解説	
6	木材の流通・需要拡大施策 と 林業普及施策	卒業後に役立つ諸手続の知識③ ・林産振興施策や木材関係事業の概要について ・林業普及指導事業に関する施策について	
7	森林境界明確化	森林施業の集約化に必要な森林境界明確化に役立つ知識	
8	森林・林業政策全般のふりかえり	本カリキュラムで学んだ内容についてふりかえり・意見交換	
評価方法	評価タイプ:A		
テキスト	必要な資料を配布します		
参考書			
備考			

講義コード [ 3-2 ]		開講区分	1 学年	前	後
林業経営 1		タイプ・総コマ数	学科	17	コマ
		講師	樋口義昭、柿迫正紀、伊東宏一、江口喜代志、井口和司他		
目的	身近で林業経営を営んでいる事例を中心に様々な形態の林業経営を知り、これからの林業経営を考える参考とする				
概要	実際に林業経営を行っている森林組合等林業事業者から林業経営の基本となる事項について学び、現状と課題を理解する ひいては、森林組合等林業事業者の経営力の向上を支える人材として活躍するための一助とする				
講義	テーマ	講義内容			
1	林業経営の基礎	「経営」の概念と、様々な森林経営の業態を紹介し、公益的機能の維持と木材生産による「林業経営」のバランスを図った「森林経営」について、「森林・林業白書」を基に解説する			
2	森林組合の林業経営	森林組合法や森林組合の役割、森林組合の林業経営の実状を学ぶ			
3	集約的な林業経営(北山林業)	北山林業の概要と現在の状況について学ぶ			
4					
5	林業経営と木材価格	素材生産を営みつつ木材市場の経営に関わってきた講師から、木材価格と搬出・輸送コストの実状を聞き、林業経営との関係を学ぶ			
6	「林・材・建」一貫の林業経営	林業家かつ素材生産業から製材業、建築業まで経営する「伊東木材(株)、(株)いとう」の業務を紹介。林・材・建が連携した経営について学ぶ			
7	個人林業家の林業経営	5代続く林業家である講師から、山を所有すること、施業をすること、林業研究グループの活動等について学ぶ			
8	森林整備センターの林業経営 確定申告と林業税制	森林整備センターが行う分収造林経営について学ぶ 確定申告の方法と林業経営に関係する税制について学ぶ			
9	企業(住友林業)の林業経営について	企業による林業経営の実状を住友林業に学ぶ			
10					
11	木材市場見学	木材市場の仕組みと役割をセリの見学を通じて学ぶ			
12					
13	林業経営と素材生産	サラリーマンを退職して素材生産業に飛び込んだ講師の半生を通じて、素材生産業の実態を学ぶ			
14	先進地視察	「森林・林業白書」等で取り上げられる林業経営の先進地を視察する			
15					
16					
17					
評価方法	評価タイプ:A				
テキスト	必要な資料を配布します				
参考書					
備考					

講義コード [ 3-3 ]		開講区分	2 学年	前	後
林業経営 2		タイプ・総コマ数	学科	16	コマ
		講師	速水亨、内部講師 他		
目的	模範的な林業経営を学び、これからの林業経営を考える参考とする				
概要	日本を代表する意欲的に林業経営を実践している速水林業、森林組合や林業事業体を訪問し知見を深める				
講義	テーマ	講義内容			
1	事前学習	現地視察を有意義なものにするため、訪問する速水林業、森林組合や林業事業体の経営や取組みについて事前に調べ情報共有することで、当日に備える			
2					
3					
4					
5	現地視察(速水林業)	持続可能な林業経営について先進的な取り組みをしている速水林業の大田賀山林を訪問し、全体としてコスト削減を考慮した林業経営などについて学ぶ			
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13	現地視察(森林組合、林業事業体)	吉野林業を中心とした奈良県の林業事業体等を訪問し、歴史のある林業経営の変遷などを学ぶことで、これからの林業経営について考える			
14					
15					
16					
評価方法	評価タイプ:B				
テキスト	必要な資料を配布します				
参考書					
備考	事前学習の取り組み具合および視察後のレポートで評価。				

講義コード [ 3-4 ]		開講区分	2 学年 前	⑥ 後
森林経営計画作成実習		タイプ・総コマ数	学科	37 コマ
		講師	湯浅勲、藤野正也、内部講師他	
目的	森林施業プランナーに必要なコスト計算について理解し、森林経営計画作成に係る実務を学ぶ			
概要	森林施業プランナーに必要な様々な知識、技能を習得し、コストを把握・分析して最善の森林施業の提案ができるスキルを身につける 森林GISの操作実習を通して、森林情報管理システムを活用した森林経営計画作成の実務を学ぶ			
講義	テーマ	講義内容		
1	森林経営計画制度の概要	森林施業の集約化に必要な森林経営計画に関連する制度の解説		
2	提案型集約化施業とコスト(基礎知識編)	コスト把握について概要を解説		
3	提案型集約化施業とコスト(林業編)	提案型集約化施業の基本的な流れとコスト管理		
4	事業量とコスト(予算管理)	事業量とコストの関係と把握方法		
5				
6				
7	コスト計算(1)	提案型集約化施業のコスト把握 工程別単価		
8				
9				
10	コスト計算(2)	損益分岐点 林業税制		
11				
12	作業システムとコスト	路網を含めた作業システムとコストの関係		
13				
14	森林GISを活用した森林情報の把握	森林GISを活用した森林情報の把握と路網設計		
15	森林GISを活用した施業データ管理	森林GISを活用した森林情報の把握と施業データ管理		
16				
17~20	森林経営計画作成実習	森林経営計画(施業提案書)作成のための現地調査		
21~24		森林経営計画(施業提案書)作成のための現地調査		
25~28		森林経営計画(施業提案書)作成のための現地調査結果とりまとめ		
29~32		森林経営計画(施業提案書)作成のためのコスト計算、計画作成		
33	森林経営計画発表準備	作成した森林経営計画(施業提案書)の発表準備		
34				
35	森林経営計画発表、意見交換	作成した森林経営計画(施業提案書)の発表、意見交換		
36				
37				
評価方法	評価タイプ:B			
テキスト	必要な資料を配布します			
参考書				
備考				

講義コード [ 3-5 ]		開講区分	1 学年 前	(後)
<h1>森林計画概論</h1>		タイプ・総コマ数	学科	10 コマ
		講師	美濃羽靖	
目的	森林計画の概要及び森林計画に密接に関わる事項について学ぶ			
概要	森林計画の中心課題は、伐採を計画的に行い森林資源を持続的に利用することとされてきたが、近年森林の公益的な機能が重視される時代となり、このような面も含め森林計画について学ぶ。			
講義	テーマ	講義内容		
1	森林計画学の構造	森林計画とは何かを理解する。		
2	森林計画と林業経営	森林計画と林業経営との関係についての基礎的事項を理解する。		
3				
4	持続的な森林管理と森林認証問題	持続的な森林管理と森林認証について理解する。		
5				
6	森林保全システム	森林を保全するためのゾーニングとモニタリング、森林計画の実際について理解する。		
7				
8	森林計画技術	GISやGPSについて理解する。		
9				
10	試験			
評価方法	評価タイプ:A			
テキスト				
参考書				
備考				

講義コード [ 3-6 ]		開講区分	1 学年 前	後
森 林 計 画 演 習		タイプ・総コマ数	学科	13 コマ
		講 師	内部講師	
目 的	森林計画に必要な知識及び技能を学ぶ			
概 要	森林計画を作成、実行していく上で必要な知識及び技能を現地実習を通して学ぶ			
講義	テーマ	講義内容		
1	森林計画作成にあたって必要な知識及び技能	森林計画を作成するにあたって必要な知識及び技能について解説する		
2	森林の現況把握	森林計画関係資料(森林簿、森林計画図)や航空写真などを見ながら現地を踏査することで、森林区域の林相区分や山地地形の現況を把握する手法等を学ぶ (植生、林相、傾斜度、地質、土質、河川、湧水、崩壊地、道路、簡易水道等)		
3				
4				
5	周囲測量	デジタルコンパスを用いた周囲測量を実習し、面積を把握する手法として林分界を見極めて測量する技術を習得する		
6	周囲測量	デジタルコンパスを用いた周囲測量を実習し、面積を把握する手法として林分界を見極めて測量する技術を習得する		
7				
8				
9	立木調査	標準地法による立木調査を実習し、林分状況を把握する技術を習得する (胸高直径、樹高、樹冠長の毎木測定)		
10	内業(調査結果とりまとめ)	現地調査で得たデータを整理し、森林計画(森林整備)を検討するための数値の算出及びその活用方法について学ぶ (測量成果から面積算出と区域図のPC取り込み、立木調査結果から本数密度、樹冠長率、形状比、相対幹距比等の算出)		
11				
12				
13				
評価方法	評価タイプ:B			
テキスト	必要な資料を配布します			
参考書				
備 考				

講義コード [ 3-7 ]		開講区分	2 学年	前	後
森林施業プランナー総論		タイプ・総コマ数	学科	12	コマ
		講師	高屋一人司、芦田暢、足立亘他		
目的	提案型集約化施業を推進する森林施業プランナーに必要な知識を得る				
概要	森林施業プランナーテキスト改訂版を読み解き、これまでの講義を総括する内容として森林施業プランナーに必要な知識を再確認する				
講義	テーマ	講義内容			
1	第1章:提案型集約化施業の意義	提案型集約化施業の必要性や森林施業プランナーの役割			
2	第2章:提案型集約化施業の進め方	森林経営計画作成から森林施業提案書作成、施業実施に向けて			
3	第3章:目標林型と林分診断	森林の多面的機能を考慮した目標林型のあり方			
4	第4章:育林技術	目標林型へと導くための育林技術			
5	第5章:路網開設	気象災害に備えた路網の施工と提案型集約化施業における路網開設			
6	第6章:作業システムと工程管理	生産性を考慮した作業システムと工程管理			
7	第7章:原価管理	コスト把握や精算、生産性考慮のための原価計算(減価管理)			
8	第8章:林業労働の安全対策	林業労働災害の未然防止と作業計画			
9	第8章:林業労働の安全対策	リスクアセスメントの解説			
10	第8章:林業労働の安全対策	リスクアセスメントの演習			
11	第9章:コミュニケーション	森林施業プランナーのためのコミュニケーションスキル			
12	試験	模擬試験も兼ねて過去の試験問題を解く			
評価方法	評価タイプ:A				
テキスト	森林施業プランナーテキスト改訂版は各自購入				
参考書					
備考					